

沢登り・沢遊び

1 活動の目的、効果

(1) 体験活動上の効果


◎阿蘇の自然に親しむ ◎集団行動、規律 ◎課題克服、達成感 ◎仲間づくり、協調性

(2) ESDの課題解決に必要な7つの能力・態度

⑥ つながりを尊重する態度

人・もの・こと・社会・自然などと自分とのつながり・かかわりに関心を持ち、それらを尊重し大切にしようとする態度

2 活動の詳細



<p>概要 (セールスポイント)</p>	<p>活動場所は、阿蘇市古城地区の国造神社付近にあります。北外輪山からしみ出した水が流れており、とてもきれいな清流ですが、流れが速く夏場も水温が低いため想像以上にハードな活動です。しかし、子供たちにとっては、冒険心をかきたてられるとともに、仲間と協力して沢登りをする事で思いやりの心や協力することの大切さを学べる活動でもあります。沢登りの途中では、水遊びや川流れ体験、生き物の観察を取り入れることも可能です。</p>					
<p>諸条件</p>	<p>実施形態</p>	<p>指導必須</p>		<p>提出書類</p>		
	<p>必要経費</p>	<p>参加者(入水する人)1人につき 1,500円</p>		<p>所要時間</p>	<p>3時間(午前 9:00~12:00、午後 13:30~16:30)</p>	
	<p>活動場所</p>	<p>阿蘇市古城地区国造神社付近 (交流の家から車で20分程度)</p>		<p>対象・人数</p>	<p>沢登り:小学4年生以上 5人以上25人以下 沢遊び:小学校低学年以上 5人以上20人以下 ※5名以上の参加者とともに一緒に活動できる引率者(指導員及び引率者を含む)の帯同が必要。さらに、陸上監視として1人引率者必須 ※沢登りと沢遊びの同時実施不可</p>	
	<p>事前下見</p>	<p>推奨</p>	<p>実施時期</p>	<p>7月から 9月上旬</p>	<p>天候</p>	<p>気温25℃以上 天候及び水量が良好のときのみ</p>
<p>準備するもの</p>	<p>青少年交流の家で貸し出し可能な物</p>			<p>団体に準備する物</p>		
	<p>ライフジャケット ヘルメット 無線機(陸上引率者1台) 携帯型雷検知器 眼鏡バンド(数に限りがあります) 赤旗1本(陸上監視者用)</p>			<p>救急セット 長袖 長ズボン 運動靴 軍手 バスタオル1人2枚 緊急用車両(自家用車等)</p>		
<p>内容</p>	<p>内容</p>				<p>備考</p>	
	<p>1 事前説明を行う 2 装備の確認 準備運動 3 コース説明及び留意事項の確認 4 沢登り・沢遊び活動 5 人員の確認 活動のまとめ 6 着替え 7 ふりかえり 移動後、道具の水洗い、後片付け</p>				<p>・移動は乗り合わせで行う ・団体の引率者も水の中に入り指導にあたる。(陸上引率者は入水なし) ・緊急用車両(自家用車等)の確保</p>	

3 活動のふりかえりのポイント

(視 点) 「自然を楽しみながら、仲間と協力して活動することができたか。」

(発問例) 「川のどんなどころが楽しかったですか。」「人を思った行動がとれたところはどこですか。」

4 SDGsで目指す姿

 <p>4 質の高い教育を みんなに</p>	 <p>6 安全な水とトイレ を世界中に</p>	<p>6.6 2020年までに、山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼などの水に関連する生態系の保護・回復を行う。 森林や河川等に関連する生態系に興味をもち、節水に努めるなど水の保全に取り組もうとする姿</p>
--	---	--

5 その他（各団体の引率者の皆様へ）

- (1) 前日の天候を含め、荒天等の理由により活動の中止、活動途中の中止を判断する場合があります。その際は、交流の家職員又は研修指導員の指示に従ってください。
- (2) 活動団体の準備不足（装備や服装の不備）の場合、また、活動時において交流の家職員及び研修指導員の指示に従っていただけない場合は、活動を中止、または活動途中の中止を行う場合があります。
- (3) 自然にやさしい活動となるようフィールドマナーを守って活動をお願いします。

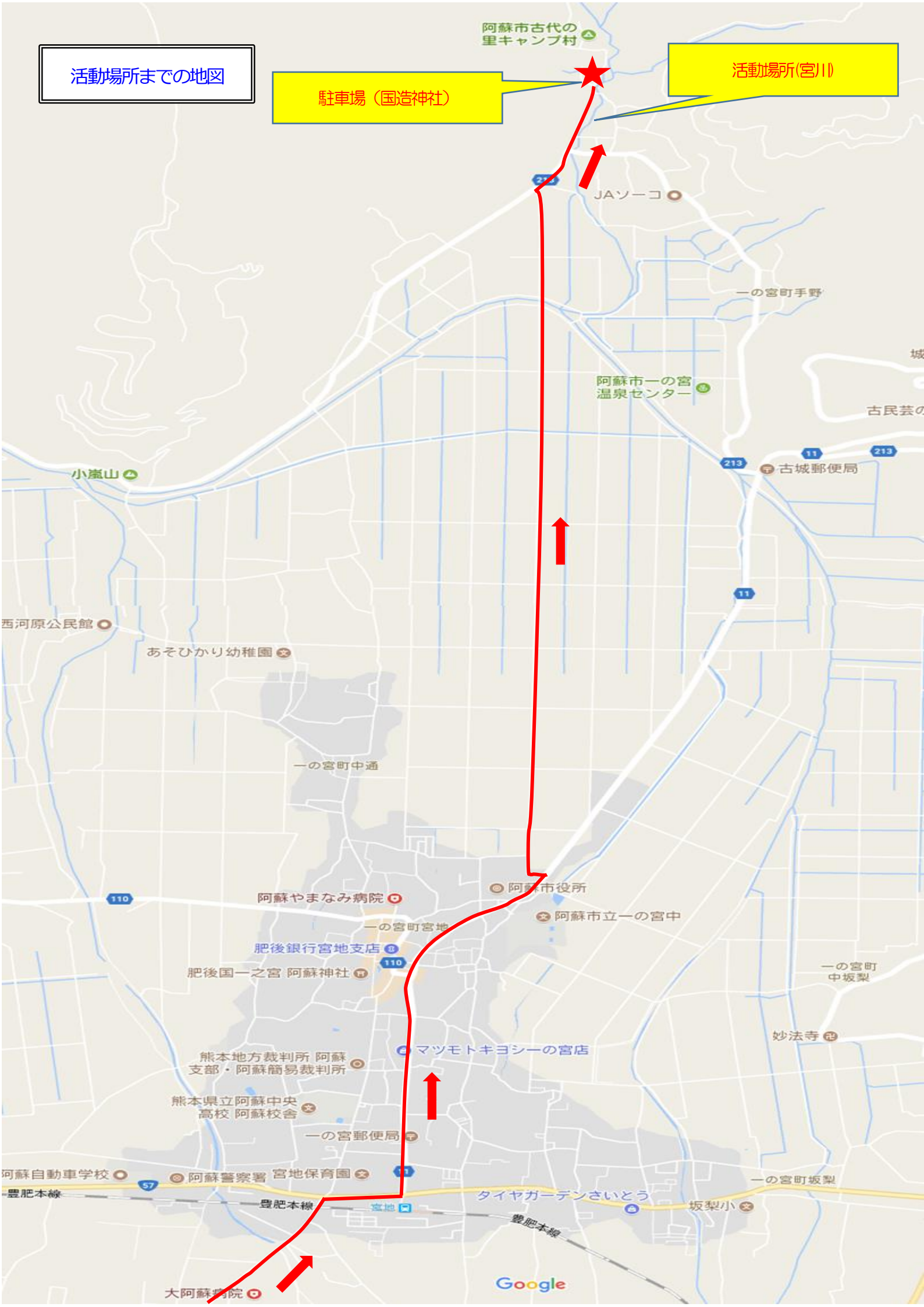
<活動中のイメージ>



活動場所までの地図

駐車場 (国造神社)

活動場所(宮川)



服装について

ヘルメット

沢活動を行う場合、必ず装着する。



軍手

必ず装着する。

長袖

肌は露出しない。

長ズボン

綿素材やハーフパンツは不向き。

靴

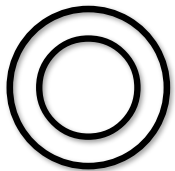
靴下を必ず履いてください。

ライフジャケット

沢活動を行う場合、必ず装着する。
子供用は股下のベルトも装着する。



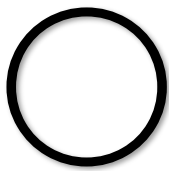
沢登り・沢遊びに適した靴



沢靴



滑りにくく、ハイカットなので足首への負担が少なく、沢に向いている。高価なのが難点



運動靴



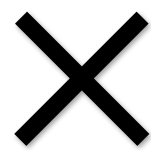
底が厚く、動き易い。履きなれているので、装着のフィット感が安定を生み出す。



ウォーターシューズ



底が薄く、砂浜での使い勝手は良いが、沢では不向き。



底がツルツルの靴



滑りやすく、転倒の可能性もあるので沢では不向き。底がツルツルの靴では使用しない。

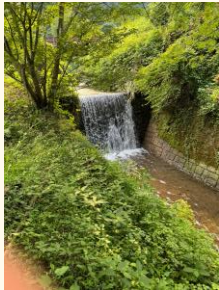


サンダル



滑りやすく、直接肌が出てしまうものは不向き。怪我や事故の原因になる。

沢登りコースマップ



ゴール
滝



国造神社駐車場
大型バス駐車可

沢階段


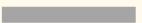








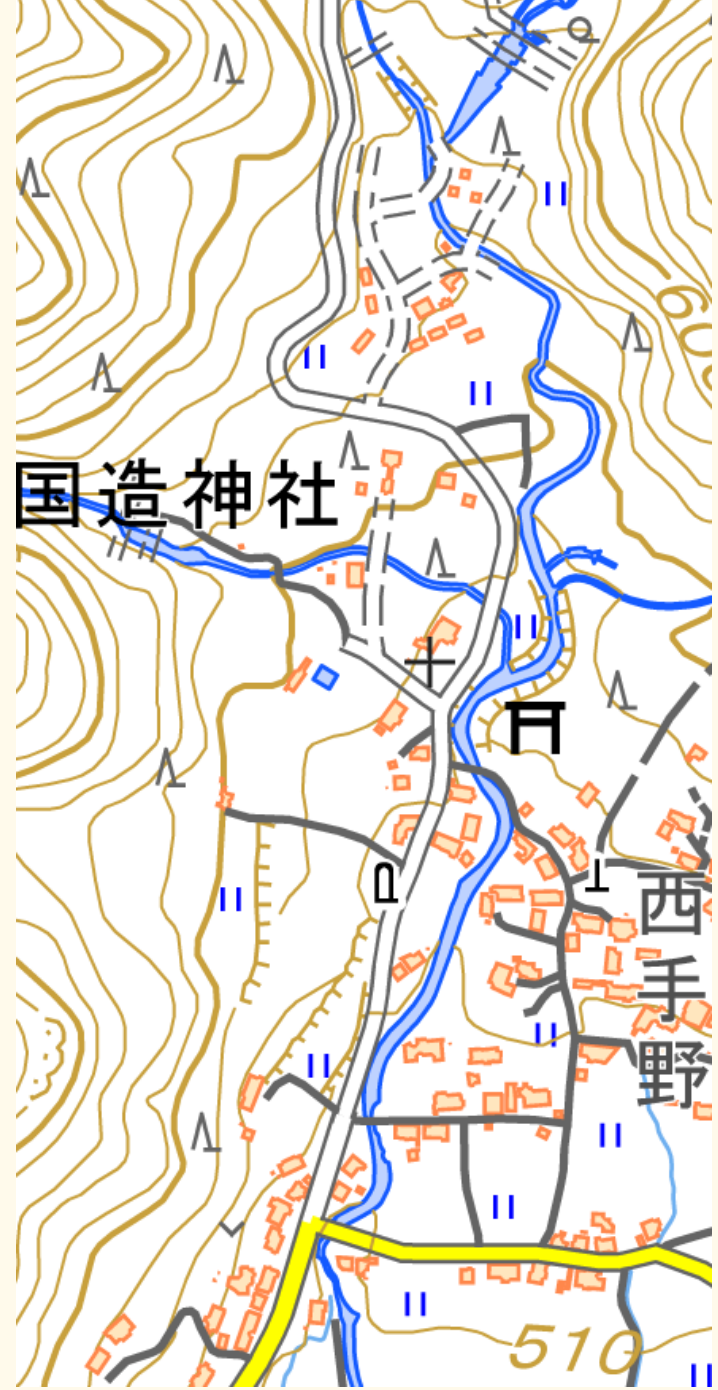
試練の
ポイント

手野名水水車
&
駐車場



スタート

-  . . . 川
-  . . . 車道
-  . . . 歩道 (車不可)
-  . . . 階段
-  . . . 各所ポイント
-  . . . 陸上視察経路
-  . . . トイレ
-  . . . 駐車場



出典： 国土地理院発行2.5万分1地形図